



ごあいさつ

落ち葉の舞う季節、皆さまお元気でお過ごしのこととお喜び申し上げます。

日本列島で繰り広げられた衆議院選挙も終わり、街は日常を取り戻しつつあるようです。しかし、今後の日本政治がどう動くのか、世界情勢も激動の中であります。

失われた30年。国民の給料はいつこうに上がらず、1人あたりのGDPは台湾や韓国にも抜かれています。一方で、税金は消費税はもとより様々な形で国民に課され、社会保障費、物価も上がるばかり。働けども豊かにならず、国民の暮らしは限界ではないでしょうか？長く続いている利権政治を終わらせ、国民の利益・国益を貫く政治の実現のために、今こそ国民の政治参加が求められているのではないのでしょうか？私もここ仙台から、足元から、皆さまと共に取り組んでまいります。

議会報告

令和6年第2回定例会 本会議・代表質疑

- 工事請負契約の締結
- 里親支援センター措置委託費及び里親支援
- 交流人口拡大と宿泊税
- 再生可能エネルギー開発への懸念と里山の利活用
- 子どもの遊びの環境の充実

● 本市の農業振興及び学校給食

日本の食料自給率は、飼料や種まで含めるとわずか10%以下。本市の食料自給率もわずか6%ほど。農家と生活者をつなぎ、地域循環型の自給圏構築が待ったなし。本市で提供している学校給食米の生産や調達支援が不可欠。市内産野菜の提供についても、流通の仕組み作りをモデル的な取り組みで始めるべき。

会派を代表しての質疑に初めて立ちました!

● ダイバーシティ推進

郡市長が市政の軸と位置付ける”ダイバーシティ推進”。欧米では”反ダイバーシティ”の動きもある中で、過度なダイバーシティ推進は、逆に市民を常に分類し分断し、もともと日本社会が持っている多様性を均質化・消失させていかないか？

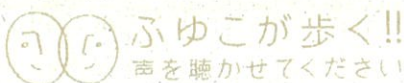


● パートナーシップ宣誓制度

メディア等は、自治体のパートナーシップ制度を同性婚法制化への入り口などと位置付ける報道を行っているが、家族を大切にし子供を産み育てるといふ、国の存続に大変重要な戸籍制度、婚姻制度を瓦解させるものであってはならない。

● 中学校歴史教科書採択

本年は4年に一度の中学校の教科書採択年。歴史教科書について、本市では教育基本法や学習指導要領の理念に基づき、子どもたちが愛国心を育める教育を行っているのか？現在使用されている歴史教科書は歴史教育の目標に叶うのか？



現場の声から考えます!
陳情書提出を仲介!
市政報告会や茶話を随時開催!

詳しくは録画映像をチェック!



大河原ふゆこ

1981年宮城県栗原市栗駒生まれ。築館女子高校卒業、中央大学文学部社会学科卒業、学習院大学法学部政治学科中途退学。自然エネルギー業界で地域住民主体の循環型エネルギー社会づくりを推進。その後、文化芸術の世界で劇団制作やアートマネージャーとして活動。令和5年7月の仙台市議会議員選挙で初当選。市民活動歴多数。5歳の男の子を子育て中。

発行人：大河原ふゆこ 会派：せんだい自民・参政の会

事務所：〒983-0045

仙台市宮城野区宮城野1-1-13

info.fuyuko.o@gmail.com

ネットで検索

大河原ふゆこ



令和6年第3回定例会 本会議・一般質問

●共同親権導入に係る本市の対応

- 親の離別が子どもに与える影響
- 共同養育と親子交流の重要性
- 親講座の実施
- 学校等での別居親の行事参加等の対応
- 子どもの連れ去り問題

離婚後の夫婦の子供を**共同親権**とする改正民法が国会で成立・交付された。これまでの単独親権下では「夫婦の別れ」=「親子の別れ」を多く生み出していた。しかし、たとえ夫婦が別れても親子の絆は変わらない。共同親権導入により、子どもの福祉の向上、家族内の孤立や孤独の軽減、DVや貧困リスクの減少、家族の再構築等が期待される。

改正民法の要は、離婚後も父母双方が子育てに関わる**共同養育**と、別居親と子どもの**親子交流**。様々な調査研究で、親子交流を実施していない子どもの自己肯定感や基本的信頼感の低下が報告され、両親双方との日常的な情緒交流が子どもの健全な人格形成に欠かせないという知見が蓄積されている。子どもが両親からの愛情を受け、会えない時間も揺るがない親子の絆を信じられることが、その後の人生を前向きに生きる力となり得る。夫婦間に葛藤が生まれるのは至極ありうること。しかしそれでも、子ども自身に葛藤を与えず、十分に父母双方からの愛情が与えられるよう、親は努め、周囲はサポートするべき。

決算等調査特別委員会

●再生可能エネルギー導入への取り組みについて

再エネ導入目標には、熱エネルギーの目標設定も必要では？エネルギー消費量の用途別割合は、家庭部門だと給湯、暖冷房、電気がそれぞれ約3割で半分以上が熱の需要。高級な電気エネルギーを給湯や暖冷房に使うのではなく、熱で賄うのが省エネ。木質バイオマスの熱利用も検討すべき。杜の都・仙台でエネルギーも木質資源を利用しているとすれば、都市ブランド向上にも資する。建築用材等で使った上で未利用材を使っていく。年間を通し熱需要がある温泉宿や老健施設などに木質ボイラーでの熱供給や、熱と電気を同時に取り出すコージェネを導入すれば重油の炊き減らしとなり、地域内で資源もお金も循環する。

詳しくは録画映像をチェック！



●作並地区の観光振興について

本市を代表する観光地と位置付けられている作並。観光振興の可能性は十分に大きい。観光振興の担い手増が必要で、地域おこし協力隊員の募集の工夫や、地域内外の新たな担い手の掘り起こしを行うべき。

詳しくは録画映像をチェック！



新事務所を設置します！

楢岡公園そば
宮城野区宮城野1-1-13です。
お気軽にお立ち寄りください！

●新型コロナウイルスワクチンの定期接種

- ワクチン接種後の健康被害
- レプリコンワクチンへの懸念
- インフォームド・コンセントの重要性

詳しくは録画映像をチェック！



コロナワクチン接種後の健康被害は、戦後最大の薬害とも言える状況を更新している。10月開始の高齢者への定期接種では、「**次世代mRNAワクチン**」(レプリコンワクチン)の使用も承認された。これは強い毒性があるスパイクタンパクが体内で作られ続け、変異も予測不能、接種した方から周囲の人たちにmRNAが伝播する可能性も懸念されている。今回の秋冬接種で承認された「**JN1株対応型**」は、マウスのみで治験を行っており、人に接種した場合の安全性や効果は不明。立ち止まって健康被害状況の検証、市民に対するリスクや禁忌の正確な情報提供を。

第3回定例会のホットな話題！



学校給食での地産地消

“モデル的な取り組み”が東長町小学校で始まることに！同校の改築に併せ、新たに冷蔵庫が導入されました。これにより給食に使う農産物の前日納品が可能になり、地域の農家さんが学校給食に野菜を納入するハードルが下がりました。

宿泊税

第3回定例会で議案提出された「宿泊税」。地域の宿泊事業者の多くが反対しており、導入後の宿泊者増効果も不透明、事業者や市民への説明も尽くされていない等々から議案に反対しました。賛成多数で導入が決まりましたが、引き続き事業者や市民、仙台市にとってプラスになるものであるようにチェックしていきます。

意見書への賛成討論

「中国・深圳日本人学校児童死亡事案の再発防止に向けた真相解明と邦人の安全確保を求める意見書」に賛成討論を行いました。

<その他議会活動>

- 健康福祉委員会(常任委員会)…健康福祉局、子ども若者局、市立病院が所管する事項について、審査・議論しています。
- 子育て環境充実審査等特別委員会…前任期に引き続き所属。今期は「子どもの遊び場」「子どもの居場所づくり」について調査予定です。
- 広報委員会…議会ホームページや市議会だより等、議会の広報に関する活動を協議し、決定しています。

<編集後記>

お読みいただきありがとうございます。SNSでは動画での市政報告も始めました。仙台市議会全体の議論や私自身の質疑や活動等々、今後もより深く分かりやすい共有に努めてまいります。皆様のご意見や想いも、ぜひお聴かせください。仙台を子どもや孫の世代に豊かに引き継いでいくために、共に行動してまいります！